



碧南ロータリークラブ週報

第3160回例会 令和8年4月1日(水)

- 会長 黒田 泰弘
- 幹事 永坂 誠司
- 会場監督(SAA) 長田 一希

2025-2026 年度
国際ロータリー会長メッセージ

- 例会日 毎週水曜日 12:30
- 事務局 碧南商工会議所内
TEL<0566>41-1100
ホームページ: <https://www.hekinan-rc.jp>
E-mail: info@hekinan-rc.jp
- 例会場 碧南商工会議所ホール
〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町 90
FAX<0566>48-1100
- 会報委員 杉浦邦彦・長田康弘・杉浦秀延

**UNITE
FOR
GOOD**

よいことの
ために
手を取りあおう

● 斉 唱

国歌「君が代」
ロータリーソング「奉仕の理想」

● 四つのテスト唱和

● 本日のお弁当

大正館

● 本日のお客様

高浜市長 杉浦康憲様
高浜市役所 秘書人事グループ 主査 本郷 光様

新入会員入会式

新入会員 杉浦友則君



杉浦友則君

会 長 挨 拶

失礼致します。

本日は時間の調整もいろいろございまして、会長挨拶禁止日となっておりますので、これをもちまして会長挨拶とさせていただきます。



黒田泰弘会長

本日もよろしくお願ひ申し上げます。

幹事報告

幹事報告をさせていただきます。

- ・ ロータリー親睦活動グループ「IGRF 第 61 回ワールド・ゴルフ・チャンピオン大会（2026 年 10 月 18 日・23 日）」のご案内が届いております。
- ・ 東知多 RC より「事務局移転のお知らせ」が届いております。
- ・ 碧南高浜防犯協会連合会より「春の安全なまちづくり県民運動の実施について（お願ひ）」が届いております。
- ・ 前会員であられました樺山善久様より絵手紙集の本をいただきまして、皆様に配布させていただきました。感謝を込めてお読みいただければと思いますので、よろしくお願ひ致します。
- ・ 本日の例会終了後に理事会を開催致しますので、理事、役員の皆様はお集まりいただきますよう、よろしくお願ひ致します。



永坂誠司幹事

委員会報告

<出席奨励ニコボックス委員会>

総会員数 58 名（内出席免除者 16 名の内出席者 16 名）出席者 49 名	
出席対象者 49 / 58 名	出席率 84.48%
欠席者 9 名（病欠者 0 名）	

<ニコボックス>

- 黒田 泰弘君** 28 日に行われました消防団入退式では、伝統の規律ある式で身の引き締まる思いでした。特に碧南ロータリー会員のスピーチが素晴らしく、感動致しました。皆様、本当にお疲れ様でした。
- 加藤 良邦君** 新入会員 杉浦友則さんを紹介させていただきます。
- 木村 徳雄君** 昨日、衣浦グランドホテルでの夜桜みながらのワイン会に石川鋼勇さん、伊藤正幸さん、大竹さん、長田和徳さん、鈴木泰博さん、角谷信二さん、新美宗和さん、森田さん、山口さん、又、明石公園ライトアップに協賛していただいた皆さんありがとうございました。皆さん今後共宜しくおねがいます。
- 岡本 明弘君** 良いことがありました。楽になりました。
- 長田 和徳君** 今日から社長交代で会長に就任しました。木村さん昨年のワインおいしかったです。

岡島 晋一君 } 先週の3月28日土曜日に碧南市消防団、消防予備隊の入退式が無事、挙
鈴木 洋君 } 行されました。御来賓として、黒田会長様、鈴木泰博様、歴代団長として角
倉内 松雄君 } 谷信二様、杉浦栄次様、長田康弘様、石川鋼逸様、公私ご多用中の中、ご臨
席賜り誠にありがとうございました。碧南市消防団、令和8年度は明るく
楽しく元気よくをモットーに活動していきます。皆様よろしくお願ひしま
す。

縦山 朋久君 本日、講師の杉浦康憲高浜市長を紹介させていただきます。
4月3日金曜日、テレビ愛知20:00「所さんの学校では教えてくれない
そこんトコロ」という番組にて当社工場が放映される予定です。
父、縦山善久より本日、絵手紙集の本を配布させていただいています。ご笑
納下さい。

杉浦 友則君 本日、新入会員として入会させていただきました。よろしくお願ひします。

<親睦活動委員会>

奥様誕生日

2日	平岩統一郎君の奥様	和恵様	6日	杉浦 保子君のご主人様	義己様
6日	杉浦 邦彦君の奥様	真理子様	8日	藤関 孝典君の奥様	千智様
30日	鈴木 泰博君の奥様	恵子様			

結婚記念日

5日	岡島 晋一君・朋子様	18年	10日	楡 孝子君・章尚様	23年
15日	岡田 竜治君・いづみ様	26年	20日	長田 康弘君・亜弓様	18年
23日	石川 鋼勇君・絵梨子様	21年	29日	貝田 隆彦君・直美様	37年

入会記念日

1日 杉浦 友則君
4日 平松 則行君

クラブフォーラム

「高浜市の今とこれからをどうつくるか」

高浜市長 杉浦康憲様

改めまして、皆さん、こんにちは。

昨年9月から高浜市長になりました杉浦康憲と申します。

本日は例会にお招きいただきまして、ありがとうございます。時間の都合で途中退席となりますが、よろしくお願ひ致します。

只今ご紹介いただきましたが、私からも簡単に自己紹介をさせていただきます。私は昭和



杉浦康憲様

41年に高浜市で生まれ育ちまして、今年で還暦を迎えます。株式会社三陶園という陶器の製造販売の会社をやっておりまして、学校を卒業した後は修行に行かずに自分の会社に入って父親と一緒にやってきたというところでございます。

本日は3つのパートに分けてお話しさせていただきます。最初は「高浜市の現在地」です。人口は約4万9千人で、なかなか5万人には届かず伸び悩んでおります。産業面では伝統的な窯業は厳しい状況ですが、自動車関連産業は好調です。そして、碧南市と同様に人口の約1割が外国籍の方々です。外国籍の方々は今や地域や企業にとってなくてはならない存在でありまして、対立ではなく融和し、同じ高浜市民として共に歩む道を探っております。

高浜市はこれまでいくつかの大きな決断をしてきました。財政状況は碧南市と同じか、それ以上に厳しい状況です。その中で最も大きな決断が、18年前に市立病院を医療法人豊田会へ移譲したことです。当時から赤字が続き、市単独での維持が困難であるとの判断でした。今思えば、非常に早い、素晴らしい決断だったと思います。

そして、公共施設の再編です。私が市議会議員になった10年前からこの問題に取り組んできました。昭和30~40年代に建設された多くの施設が老朽化し、全てを更新するのは財政的に不可能でした。そこで、マイナスな再編ではなく、今の市民のニーズに合わせて施設を集約し、未来を担う子供たちの学びの場はしっかりと確保するという方針のもと、学校を中心とした再編を進めました。

その結果、市役所の建て替え、民間による病院の建て替え、市内に5つある小学校のうち4つの建て替えや長寿命化改修を終えまして、中学校のトイレや空調設備などの改修もほぼ完了しました。この10年で集中的に投資したため、現在の財政を圧迫している一因ではありますが、昨今の建築費や人件費の高騰を考えると、あのタイミングで実行しておいて本当に良かったと感じております。

子育て分野では、妊娠・出産から子育てまでを一体的に支援する「高浜版ネウボラ」という体制を整えております。また、昨年からは交通弱者のためのデマンド交通で「チョイソコたかはま」というバスの運行を開始しました。市内約200か所の停留所間を予約制で移動できるこのシステムは、コンパクトな高浜市だからこそ実現できた取り組みです。

次に「見えにくい財政のリアル」です。高浜市の財政力指数は1.0を少し超える程度で、国からの普通交付税が交付されない「不交付団体」です。碧南市も同様ですが、これは全国的に見れば過疎地域などに税金を重点配分するという国の趣旨からすればやむを得ない面もあります。しかし、私たちのような都市にとっては厳しい制度でありまして、国には改善を求めています。

このような厳しい財政状況の中、物価高、人件費高、そして扶助費（福祉サービス費）の増大によりまして、税収が追いついておりません。それでも改革を進めまして、住民サービスを維持・向上させていく必要があります。

そして「次をつくる3つの視点」ということで、1つ目は「国の制度と、現場のリアルのズレに気づく」です。長年続いている行政サービスには、いつの間にか現場の実情と合わなくなっているものがあります。例えば、高浜市では長年住民の方々にお問い合わせしてきた資源ごみの当番制がありましたが、共働き世帯の増加など生活様式の変化により「やりたくてもできな

い」という声が多く寄せられました。そこで、まさに今日からシルバー人材センターに委託することにしました。

これは行政に限った話ではなく、皆さんの会社や地域においても「昔はこうだったから」という慣例が、今の時代に合わなくなっていることがあるはずです。そのズレにいち早く気づき、勇気を持って変えていくことが重要です。

2つ目は「諦めるのではなく、『一歩前』へ」です。視野を少し広げるだけで、今まで見えなかった世界が見えることがあります。これは私の家業である陶器業界での経験です。インターネットが普及し始めた頃、多くの同業者がネット通販に挑戦しましたが、陶器は重くて送料がかさむため、「ネット販売には向かない」と諦める人がほとんどでした。私も「重いから無理だ」「近所で買えるものをわざわざネットで買う人はいない」とやる前から諦めておりました。

しかし、ある同業者が諦めずに挑戦を続けました。その同業者はいたずらに値下げ競争に走らず、定価で本当にその商品を気に入ってくれた全国のお客様に販売するという手法を取りました。その結果、今では会社の売上の半分以上をネット通販が占めるまでになったそうです。この話を聞いて、私は「やる前から諦めていたな」と深く反省しました。皆さんも最初から諦めるのではなく、まずは一歩前に踏み出し、挑戦してみていただきたいと思います。

3つ目は「やめる勇気」です。これは年初に市役所の職員にもお話しさせていただきました。新しい事業を始めることは見栄えも良いですし、格好良く見えるかもしれませんが、私たちの財源や人材、時間は有限です。何か新しいことを始めるためには、何かをやめなければなりません。

事業においても、行政においても、優先順位が曖昧なままではお金も人も時間もいくらあっても足りません。その中で「私たちは何を一番守りたいのか」を明確にすることが重要です。守るべき核となるものを定め、それを守るために優先順位の低いものや時代に合わなくなったものをやめるという決断をする。このやめる勇気を持って市政改革を進めていきたいと考えております。

私が選挙時に掲げたスローガンは「たかはま一心 ～つながる力で未来を創る～」というものでした。「たかはま一心」というのは、様々な立場や地域の人々が、いざという時には1つの心で集まりましょうという意味です。そして、時代の変化に合わせて考え方を一新していくという意味を込めております。このスローガンのもと、高浜市政を進めております。

碧南市の皆さんにおかれましても、様々な形で高浜市と関わりを持っていただいていることと思います。ぜひとも、この地域の発展のために皆さんのお力をお貸しいただければと思います。

雑多な話ではありましたが、私からのお話とさせていただきます。本日はありがとうございました。

次回例会案内

令和8年4月15日（水）

クラブフォーラム「クラブリーダーシップラーニングセミナー報告」